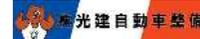


事例3

これから社員が
育児休業を
とることに備える
職場

休業しやすい職場づくりのための 人材採用強化！

株式会社光建自動車整備



創業 平成9年3月14日 資本金 4,000万円 代表 代表取締役 下山悟
所在地 〒036-8083 青森県弘前市新里東里見136-1 電話 0120-26-1923
従業員数 27名 ※2025年12月現在 主な事業 車検・板金塗装・修理・自動車販売等

現状

事業者の**代替要員の確保**は、元々少数精鋭で業務をやりくりしていることの多い中小企業では大きな課題です。
株式会社光建自動車整備にもこうした問題意識があり、育児休業しやすい職場づくりを目指す上で、誰かが休業しても対応できるよう、**人材採用力の強化**が課題でした。
これまでもハローワークでの募集を軸に人材の採用に取り組んでいましたが、過去の採用パターンや成功ケースを振り返り、社員や知人から人材を紹介してもらう、いわゆる「**リファラル採用**」の**強化・仕組み化**を検討しました。

取組の紹介

社員の育児休業を考える上で懸念される「育児休業する社員の代替要員をどうするか」という問題に対し、人材採用力の強化について、実効性のある対応を検討しました。

アドバイザーからのサポート(支援)

【支援①】人材の紹介をお願いする ポスターの作成

社員だけでなく、**お客様や協力会社の方からも紹介**をしていただけるよう、目にとまるポスターを作成し、職場の中や商談スペースに掲示しました。



【支援②】「リファラル」採用の社内制度化検討

社員からの人材紹介に関して、取り扱いの基準を会社として定めるため、成立条件や報奨金支給条件の規定化を検討しました。

リファラル採用 とは？

自社の従業員が**友人や知人などの信頼できる人材を紹介(リファラル)して採用**につなげる手法です。企業文化を理解している社員からの紹介なので、マッチング率や定着率が高く、採用コストも抑えられることから、採用難の日本でも注目を集めています。

※リファラル(referral)=紹介・推薦

【支援③】求人票の見直し

求職者に興味を持ってもらえるよう求人票を見直しました。
会社の雰囲気やイメージしやすい情報を足したり、充実した資格制度を強調したりと、**会社の魅力が伝わるように工夫**しました。

解説

- 安心して休業してもらうために、**休業者が出る前から代替要員を確保できるような人材採用力を強化**する
- 優秀な人材を採用し定着してもらえるよう、これまでの**採用実績を振り返り会社にあった採用手法を磨く**
- 採用力を高めるために**必要なツール(案内資料や制度等のルール)を作成し、採用活動を継続**していく

育児休業しやすい職場づくりのポイント

POINT 1

採用力は普段から強化

人材採用の**成功パターン**の分析や**地道な広報活動**は普段から怠らないようにします。

POINT 2

人材を募集していることを 知ってもらう

掲示物等で、**まずは「認知してもらう」**ことが大切です。

POINT 3

「リファラル」採用と制度化

社内ルールを明確にして、社員がいつでも確認できるようにすることが「リファラル」採用の促進につながります。

POINT 4

求人票は強み・メリットをアピール

他社比較での強みは元より、特に「**求職者にとってのメリット**」を示すことが良い求人票のポイントです。

担当者より

現時点で育児休業を希望している社員はいませんが、今後は介護休業の希望者も出てくると考えています。慌てて採用に取り組んでもうまくいかないのが、今回の人材採用の見直しは良い機会でした。「リファラル」採用を通して社員やお客様との交流を深め、会社全体の一体感を高めていきたいと考えています。社員のライフステージに応じて、退職後も短時間勤務などで活躍できる制度を目指します。急な欠員時にも助け合える柔軟なネットワークを築きたいです。



工藤 取締役

取組の成果とさらに期待できる点

休業しやすい職場づくりを進めるため、代替要員確保に向けた人材採用施策の整備に取り組みました。全国的に採用難となっている自動車整備士はもちろん、営業や事務についても、求人ニーズがあるものなかなかうまく採用に至った場合でも、その後の定着に課題があるということでした。このような中で過去にあった**成功例を聞き取りしたところ、納得のいく採用ケースが自社の社員や知人からの紹介によるものだった**ということがわかり、「リファラル」採用の推進を検討しました。現在、育児休業等の予定者はいない状況ですが代替要員を確保できる体制の整備や常時人手不足にならないよう、安定した人員配置を常に心がけることも休業しやすい職場づくりには必要です。